

4 - 16 御岳山周囲の上下変動

Vertical Movements around Mt. Ontake

国土地理院測地部
Geodetic Department, Geographical Survey Institute

国土地理院では、今年度の水準測量としてたまたま噴火のあった御岳山周囲の路線を作業中であり、その暫定成果の一部を速報として報告する。(環が閉合し平均計算をして正式に発表される以前のもの)。

先ず御岳山北側の高山市から高根村を経て、木祖村に至る水準測量結果(1979, 5~6)を第1図に示してある。

上段が今回と前回(1972, 5~12)との比較結果、中段は前回と前々回(1966, 7~10)との比較結果から得られた上下変動である。

この図からは御岳山に最も近い部分よりやや、北西の水準点番号982付近を中心に約2cm程度の凸状の隆起がみられる。

第2図は木祖村から中津川市を経て岐阜市に至る水準測量結果(1979, 5~10)が示してある。南側の路線は現在作業中で1979年12月に終了する見込みである。

上段は今回と前回(1967, 4~6)との比較結果、中段は前回と前々回(1951, 5~11)との比較結果から得られた上下変動である。

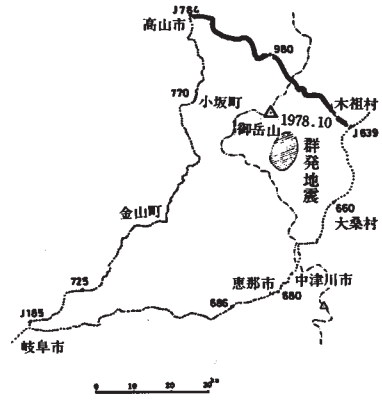
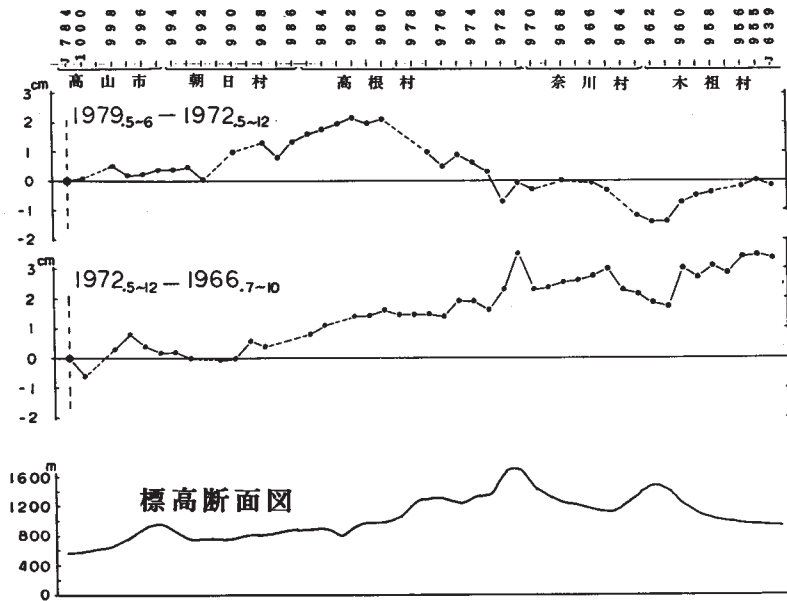
この図からも第1図と同様に御岳山に割合近い大桑村の水準点番号660を中心に、隆起がみられる。

この路線を横断する各断層の位置を参考として示してある。

第3図は高山市から萩原町、金山町を経て岐阜市に至る水準測量結果(1979, 6~8)で、上段が今回と前回(1972, 6~8)の比較結果を、中段は前回と岐阜県中部地震後の測量(1969, 10~11)との比較結果を、下段は前回と岐阜県中部地震前の測量(1966, 5~11)との比較結果を示してある。

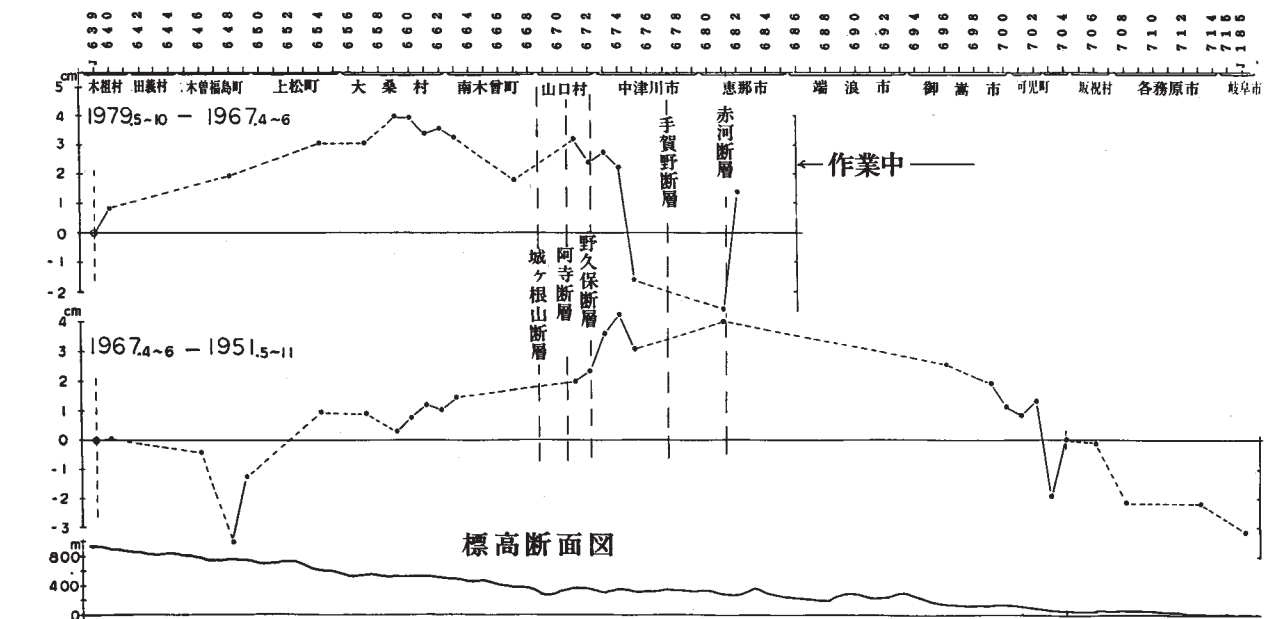
この図からも御岳山に近い小坂町(水準点番号770)を中心に約2cmの隆起がみられる。南側(図の右側)は今回と前回とが対称形で誤差の累積と思われる。

第1図から第3図まで御岳山の周囲の水準測量から、いずれも割合近い部分に同じ位の隆起現象が表われているが御岳山の噴火と直接関係が有るか否かは水準の結果からは言及できない。



第1図 高山～高根～木祖間の上下変動（暫定）

Fig. 1 Vertical movements along the line Takayama ~ Takane ~ Kiso (provisional).

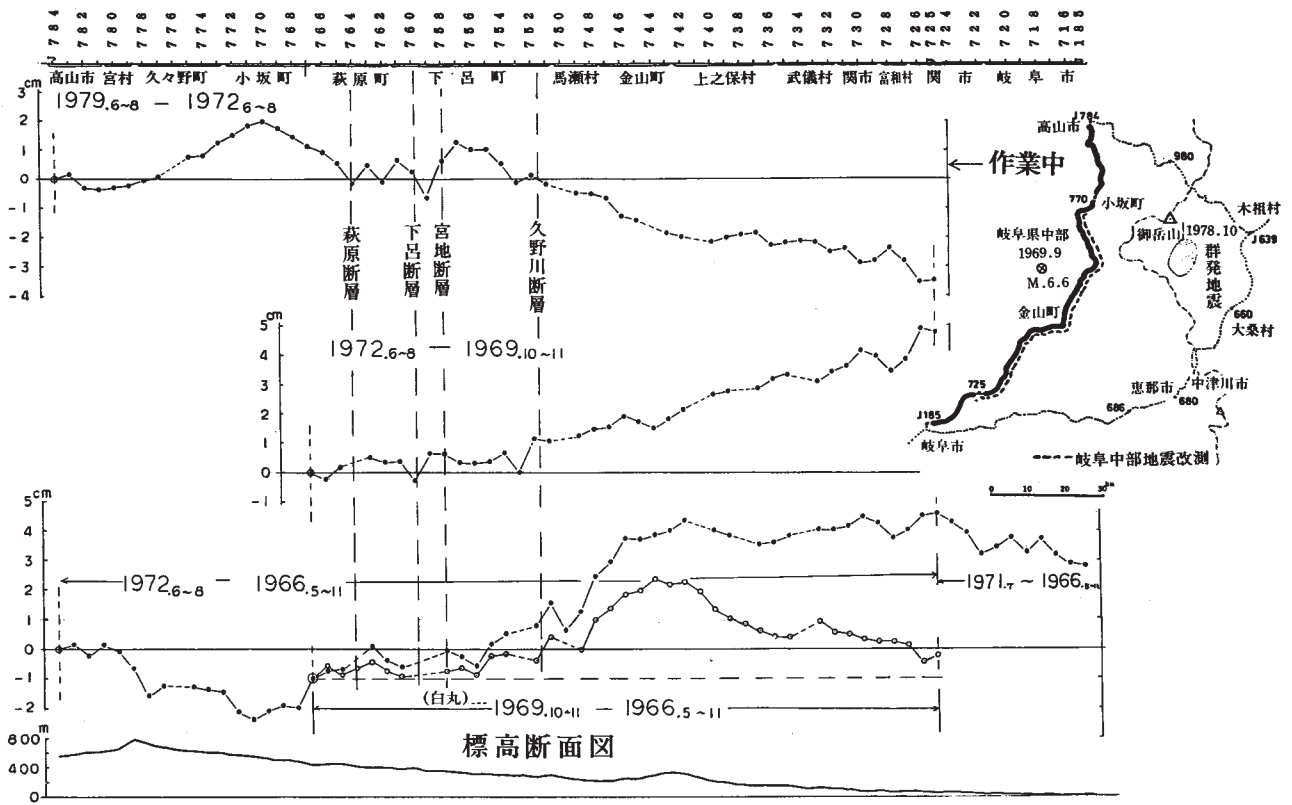


断層名及び断層の位置は自然災害特別研究(代表者: 貝塚爽平)「活断層資料」1979.3No.6-2による。以下同様注記略



第2図 木祖～中津川～岐阜間の上下変動（暫定）

Fig. 2 Vertical movements along the line Kiso ~ Nakatsugawa ~ Gifu (provisional).



第3図 高山～萩原～金山～岐阜間の上下変動（暫定）

Fig. 3 Vertical movements along the line Takayama ~ Hagiwara ~ Kanayama ~ Gifu (provisional).